

和歌山都市圏総合交通計画研究会 事業報告

研究会主査 辻 本 勝 久
【和歌山大学経済学部教授】

和歌山市には都市交通を総合的に扱う計画が存在しない。和歌山市ではこれまで、貴志川線の再生や地域バスの導入、六十谷駅周辺地区のバリアフリー化、和歌山大学前駅の設置といった施策が個別に展開され、一定の成果を挙げてきてはいる。しかし今後は、人口高齢化への対応や出産・育児支援（少子化打破）、都市間競争、余剰感の出てきた道路空間の再配分、超小型自動車・EV 等といった新技術の実用化動向等を見据えつつ、より戦略的・体系的な取り組みを進めることが極めて重要となる。また、人々の日常的な移動範囲が市域を越えて広域に拡大していることや、和歌山市が県都であること等から、周辺市町も含めた都市圏レベルの視点での取り組みも重要である。

そこで、この研究会では、わが国の諸都市で策定が進められている「都市・地域総合交通戦略」の事例や、英国のカウンティレベルの自治体が策定する地方交通計画（Local Transport Plan : LTP）の事例等を参考としながら、和歌山都市圏総合交通計画の理想像を追求し、交通まちづくり関連政策における理論的支柱を形成することを目的に研究を進めた。

研究期間は1年間であり、研究会は後述のメンバーと、多数のオブザーバーの参加のもとで進められた。日程と報告者・報告テーマは次の通りであった³。

6 / 11 14名

1. 本年度研究会の進め方・内容について

7 / 31 14名

1. 交通政策基本法の理念等と自治体の交通計画のあり方について（井口氏）

9 / 26 13名

1. 交通状況に関する市民の意識調査について（上野氏）

11 / 13 15名

1. 和歌山都市圏の移動特性～近畿圏パーソンとリップ調査を用いて～（辻本）

³ 平成 26 年度開始当初は研究予定期間を 1 年としていたが、平成 27 年度研究事業として継続することになった。延長後の事業概要は、後述「平成 27 年度事業」を参照。

12 / 18 10 名

1. 和歌山都市圏・公共交通の利用状況とバリアフリーの状況（井口氏）

1 / 14 12 名

1. 平成 27 年度 和歌山地域経済研究機構研究会 研究提案書について（辻本）

3 / 27 8 名

1. 関連する計画制度について（辻本）

2. 人口、交通不便地域、主要施設の分布状況について（辻本）

メンバー：

辻本 勝久（代表） 和歌山大学経済学部教授
 藤田 和史 和歌山大学経済学部准教授
 廣岡 裕一 和歌山大学観光学部教授
 畑山 善生 和歌山社会経済研究所研究部長（平成 27 年 1 月 31 日迄）
 中西 望 和歌山社会経済研究所研究部長（平成 27 年 2 月 1 日以降）
 中平 匡俊 和歌山社会経済研究所主任研究員
 塩路 眞英 和歌山社会経済研究所主任研究員
 影山 慎也 和歌山社会経済研究所主任研究員
 林 秀訓 和歌山社会経済研究所研究員
 中谷 正隆 和歌山商工会議所企業支援部企画・街づくり支援室室長補佐
 日浦 孝祉 和歌山商工会議所企業支援部企画・街づくり支援室主事
 上野 美咲 和歌山大学経済学部特任助教
 上野山裕士 和歌山大学観光学部特任助手

オブザーバー：

永尾 吉賞 和歌山県企画部企画政策局調査統計課主査
 志場 久起 わかやま NPO センター理事、事務局長
 井口 智史 和歌山大学大学院観光学研究科（学生）
 寺岡 紀晋 和歌山大学大学院経済学研究科（学生）
 宋 謙 和歌山大学大学院経済学研究科（学生）
 米原のぞみ 和歌山大学経済学部（学生）

（注：所属・肩書については平成 26 年度時点）